

障害者が自立して暮らすことを目指して支援活動をしている全国組織「全国自立生活センター協議会」(J.I.L.)=事務局・八王子市=が、昨

年10月8日に発生したパキスタン地震で負傷し、脊髄損傷などに苦しむ人々を支援するための活動費用を募集している。

自立生活センター協議会



日本から贈られた電動車いすを修理するライフ自立生活センターのスタッフ（パキスタン・ラホールで2004年11月、西尾さん撮影）

同地震では、パキスタン
とインド両国で7万人を
える犠牲者が出ており、

傷者もほぼ同数で上るのみ
られている。

J.I.L.によると、負傷者約500人は、壊れた家屋の下敷きになるなどして脊髄を損傷しており、パキスタン・イスラマバードの病院で手当を受けている。しかし、専門の医師が足りないため、床ずれの処置などが不十分な上、パーテルなどの医療器具の不足により、感染症などで

パキスタンでは障害者に
対する偏見が一部に根強く
残っているといい、JILL
は地震で障害を負った人たち
の自立支援のためのセン
ター設立を目指している。

パキスタン地震 負傷者に支援を

活動費募集

命を落とす負傷者も出てしまふ。

用金庫 京王八王子支店

用金庫 京王八王子支店 普通 0-217-8217 パキスタン地震緊急救援基金 6・60・7747) へ。 代表 中西正司。問い合わせはJILL(0-042)

代表 中西正司」。問い合わせはJIL(060426・60・7747)へ。